

**下呂市 地域資源を活用した新商品アイデアコンテスト**  
**資源データベース資料1、2についての説明と活用方法について**

**資料1、2について**

- 資料1、2は、令和6年度に下呂市生産文化圏農泊推進協議会が実施したワークショップ、ヒアリング、アンケートで集めた情報をもとに作成した、下呂市における農業を中心としたデータベースです。
- あくまでも限られた期間で収集した情報であり、市内のすべての情報を網羅できていないものではありません。
- 資料1は、下呂市内における農業資源の特徴やこだわり、時期的な作業、困りごとや課題などの情報を掲載しています。
- 資料2は、その他の下呂市における自然環境、生活に関すること、食に関すること、観光、歴史に係る情報等を掲載しています。

**資料1、2の活用方法について**

**<ストーリー性を考える際の参考情報としての活用>**

- 今回、新たな商品開発コンペを行ない、審査する上で、ストーリー性、由緒由来性といったことを重要視しています。背後にストーリー性がある商品は、付加価値が付き、売り上げにつながりやすくなると考えられます。
- 下呂市において、どんな人がどのような想いを持ち、どのような自然環境や場所で、どういった歴史や背景を持ちながらできた商品なのか、といった点を今回のコンペにおける重要なポイントと考えています。
- そういった背景情報を探したり、読み取ったりするための資料として活用いただければと思います。

**<体験商品案を考える際の参考情報としての活用>**

- 体験商品を考える際には、各季節の旬のもの、それに関連するものなどを組み合わせることが有効です。
- 例えば、令和6年度に金山地区で行ったワークショップでは、お茶を中心テーマとし、各季節の旬のもの、それに関連するものなどを組み合わせた体験プログラム案が出されました。(次ページ参照)
- こういった形で、体験商品を考える際の参考情報として活用いただければと思います。

※資料1、2に掲載してある情報を必ず使用しなければならないということではありません。あくまでも、商品のストーリー性や体験商品案を考える際の参考情報として活用いただければと思います。

## ■ 参考事例：お茶（幾里茶）を中心とした体験プログラム案

### 【お茶（幾里茶）に関わる作業、地域資源等】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
お茶		•肥料入れ (1回目/下旬)	•肥料入れ (2回目/初旬)	慣らし刈り	•一番茶の刈り取り (初旬)	•二番茶の刈り取り ※昔 (6月下旬～7月上旬)	合刈り		•追肥	•追肥 •秋整枝	慣らし刈り	お茶の花 お茶の実(油・苗)
お米				•畔の草刈り (2回)	•田んぼSAP 田植え					補刈り		•茶畑に雪がかかるとお茶が美味しくなる •花餅
その他	のびのび卵(純国産系統の卵?)											
								鮎(弓掛川)				•奥飛騨酒造 杉玉上げ
						朴葉採集・朴葉寿司						

### 【お茶のストーリー】

- 約 500 年続くお茶の生産
- 京都の九条家にお茶を献上した際、お礼として和歌を贈られる：「いくさとの つきのひかりも にほふらむ むめさくやまの みねのはるかぜ」
- お茶栽培の北限

### 【狙い】

- お茶畑を守る／お茶の生産文化を守る

### 【地域資源の活用・連携案】

- 長尾家、矢島家の古民家の利用
- 使われていない茶畑の利用
- お茶の実の利用
- お米（山仙）、卵（のびのび卵）、鮎（弓掛川）、朴葉寿司、温泉、お酒等との組み合わせ／それらの生産者・事業者との連携

### 【体験プログラム案】

- お茶摘み体験
- お茶蒸し・お茶揉み体験
- お茶入れ体験
- 茶染め体験
- お茶のオーナーズ制度
- 上記を組み合わせた体験プログラム、宿泊プログラム等